

## 省エネ・環境教育推進事業実施報告書

実施日時	2021年8月18日(水) 10:00~11:00	
実施メニュー等	1 支援メニュー番号	408
	2 その他(具体的に)	
対象箇所	鵜の島学童保育クラブ	
対象学年及び参加者数	1~6年 24名	
学校側担当者氏名	西村 慶子	
派遣講師所属団体名及び氏名	うべ環境コミュニティー 浮田 正夫	
実施内容	<p>タイトル「食べ物ごみをへらすにはどうすればいい？」</p> <p>要旨          食べ物はいのちの源で大切なもの。いきものは食べ物で繋がり自然の中で循環している。食べた物はエネルギーになり、うんこ・しっこになり、食べ物ごみや排水となる。日本ではまだ食べられる物がごみとして捨てられ、世界では十分な食べ物のない人々が大勢いる。食べ物ごみを減らすには、食べ物を作る人、食べ物になる動物・植物に感謝する気持ちを持ち、美味しく、ごみの少ない料理を工夫して、食べ過ぎや食べ残しをしないこと。食べ物ごみは家庭から一人一日100g、店からは150g、合わせて250g(60gは食べられるもの)、水分が多いため燃料を使って焼却したくさんCO2を排出する。食べ物ごみを土に埋めれば栄養豊かな土になり焼却するごみも減る。プラスチックごみは埋めても腐らず、ポイ捨てしたごみは川や海に流れ込み自然を汚染し、誤って飲み込んだ鳥や魚がたくさん死んでいる。ごみはキッチンと分別し絶対にポイ捨てしない。</p> <p>感想          ・食べ物ごみについて日本の状況、問題点、あるべき姿—複雑で深い内容をPPTを使い、子ども達とコミュニケーションしながら分かり易く教えられた。          ・子ども達は、1時間しっかり聞いてくれた。          ・大人にも聞いて欲しい授業です。</p>	

